



# R. I. 第2630地区 高山中央ロータリークラブ WEEKLY REPORT

2014~2015 年度 高山中央 RC 会長テーマ  
「心に響き 心に残り そして心が熱くなる」

◆会長 永家 将嗣 ◆幹事 高原 清人 ◆会報委員長 岩垣津 亘 ◆会報担当 岩垣津 亘

創立 1991 年 5 月 20 日

◇事務局 高山市本町1-2

飛騨信用組合本町サテライト出張所 3階

TEL:0577-36-0730/FAX:0577-36-1488

◇例会場 ひだホテルプラザ 3F/TEL:0577-33-4600

◇例会日 毎週月曜日 PM12:30~

◇ホームページ <http://www.takayamacrc.jp/>

## <出席報告>

	会員数	出席会員	出席	Make-up	出席率
本日 1044 回	55 名	53 名	44 名	—	83.02%
前々回 1042 回	55 名	53 名	39 名	5 名	83.02%

## <点 鐘>

会長 永家 将嗣  
奉仕の理想

## <ロータリーソング>

## <会長の時間>

会長 永家 将嗣

皆さんこんにちは、早いもので本日は4月の最終例会です。ここ数日とても暖かく日に日に新芽が出て新緑の季節を迎えました。気持ちも前向きになれる季節なのでお仕事を頑張ってくださいと思います。

さて今月は「ロータリー雑誌月間」です。ロータリー雑誌についてお話ししたいと思います。ロータリーの雑誌としては親しみやすいのは「ロータリーの友」ですが、これは地域雑誌で日本のロータリアン用の雑誌です。



高山中央ロータリークラブでは広報・雑誌・IT 委員会となっていますので、広範囲な活動になりますが、雑誌委員会のみロータリークラブでは次のような委員会任務があります。

雑誌委員会の任務 具体的活動

1. プログラム委員会と協力して、4月の雑誌月間に特別行事を行う。
2. 雑誌購読が会員の資格条件の一つであることを強調する。
3. 会員の雑誌に対する関心度を調査する。
4. 雑誌内容について、定期的な紹介を行う。
5. 興味ある記事に関して、クラブ・フォーラムなどを開催する。
6. 雑誌を利用して、会員候補者や会員に、ロータリー情報を提供する。
7. 卓話者、青少年交換学生、ロータリー財団奨学生、米山奨学生、その他ロータリーと関係のある人に贈呈する。
8. 広報委員会と協力して、地域社会のロータリー関係以外の図書館等の公共機関へ雑誌を贈呈する。
9. 「ロータリーの友」にクラブのニュースや写真を投稿する。
10. 英文「ロータリーの友」の購読、配布を奨励する。

以上のように、ロータリーの雑誌は 会員一人一人がロータリーに前向きになり、読む、聞く、体験するなどして『ロータリーの友』の中にロータリーの心を見つけることが大切です。そうすると、それなりに何らかの感動が得られ、更にもう一歩突っ込んで知ろうとするようになります。この様に毎月定期的に個々のロータリアンに届けられる貴重な情報源である『ロータリーの友』を読み、討論したり、ロータリアン以外の人に贈呈したりすることがとても重要です。

## <幹事報告>

幹事 高原 清人

○R I 本部より

・ザ・ロータリアン誌 4月号 5月号

○国際ロータリー第2630地区ガバナー事務所より

・第25回日本ロータリー親睦ゴルフ北海道大会のご案内

日時：平成27年6月22日(月)7:00スタート

会場：小樽カントリー倶楽部

○濃飛グループガバナー補佐より

・最終訪問について

日にち：平成27年5月11日(月)

<会報>

・美濃加茂RC

## <本日のプログラム>

環境保全委員会

### 「低酸素型社会とは」

堀口 委員長

社会に多大な影響をもたらす地球温暖化の緩和を目的として、その原因である温室効果ガスのうち、大きな割合を占める二酸化炭素の排出が少ない社会を構築することが、世界的な課題となっています。

本日は、環境委員会メンバー自らが講師となって環境に配慮した低炭素型社会実現に向けて自身の職業を通じて提案発表を行います。



## 「最新住宅設備とは」

和田 副委員長

新聞で住まいの常識という特集を掲載していただきましたのでご紹介いたします。

現在の家庭用設備商品で買い替えをしたら最も CO2 削減出来るものはエアコン、照明器具、トイレ、浴室の中で何でしょうかとの問題が有りました。



家庭用エネルギー使用量の中で給湯の占める割合が 33% で CO2 削減の一位は浴室で年間 498 kg の削減です、エアコンは 127 kg、トイレ 114 kg、照明 37 kg です。

断熱浴槽や節水シャワー等が温暖化防止に寄与するとされていました。

現在のユニットバスはほとんど浴槽断熱を施してありますので 4 時間で 2.5℃未満の温度減少です。

省エネとは別の話ですがユニットバスは天井のカビが目立ち毎月天井掃除をして見える方がほとんどですが、新商品に交換される際に特別の保温を施して年に 3 回、即ち四か月に一回のお掃除で良い工夫も有ります。

話は変わりますが国策として省エネ住宅ポイントの話が出ています。

3 月 10 日から受付です、お手元にチラシを配布しましたのでご覧頂きたいと思えます。

断熱改修、窓断熱、バリアフリー改修（段差、廊下拡張、手摺り設置）、耐震改修の建築工事が有りますが、この話は堀口さんにお任せする事にして、私は設備的なお話をしたいと思います。節水トイレ、高断熱浴槽、節湯水栓、高効率給湯機（電気ヒートポンプのエコキュートや石油ボイラーのエコウィル）、強制循環式太陽温水器等があります。20 年程前のトイレは一回のトイレ洗浄水量は 13L 程度でしたが、最新式トイレは 3.8L 迄、省水量になり過を巻く様にして洗浄しますので、便器内のお掃除も大変簡単になっています。便座についてもかなり省エネになりました。現在ウォシュレットが不具合で修理部品も無い方には、便器も一緒に交換されませんかとお勧めしています。

自動で蓋が開き便器内を水道水で濡らして汚れを付きにくくする機能や一週間前のご使用状況で節電するお任せ節電や撥水性能のある樹脂で汚れをはじく機能など清掃性、省エネ性、快適機能が充実しています。

高効率給湯器は電気と石油やガスをエネルギー源としています。エコキュートの電気ヒートポンプで電気 1 と外気温度 2 を足した三倍の熱を生み出す優れたものです。またエコウィルというガスや石油燃料のボイラーが有り、比も排気温度が 60℃程度で熱効率が 95%有ります。通常の給湯器もトップランナー方式で熱効率が高くなっていますが、反面、いずれも構造が複雑で寿命が 10 年未満となっております。

又エコキュートは深夜電力で夜中に動きますので低音の問題で裁判が起こっている事も有りますので、室外機設置は近所の寝室から離れた所に設置する配慮も必要です。強制循環太陽熱温水機は受熱板が太陽光発電パネルと同じような設置方法になりますが積雪の落雪や積雪の荷重対策が必要になります。

大まかに言いますと断熱と節水、節電で省エネを推進しましょうとの国の施策です。

今後の期待される省エネ機器は安定した地中熱を利用した冷暖房や給湯設置で現在の省エネ機器より 1 割軽減を

目指している機器も有りますが、工事費も高くなかなか普及していない現状です。

今話題の水素で走る車「ミライ」をトヨタが出していますが、家庭用の燃料電池は発売してから 10 年程度経ちますが、もともと水素は独断で存在するもので無く結合して存在しますので、LP ガスから CO2 を大気に放出して水素だけを取り出す、其れを燃料電池の燃料にします。熱効率も悪く耐久性もあまりよく有りませんが発電できる事と補助金が出るとの事で国が実証実験をしている程度ですが、試験的に大阪の団地はガス配管の代わりに水素を供給する配管を家庭用に引く計画が持ち上がっています。

又、高山市が補助金を出して普及を目指しております、ペレットや薪ストーブが有ります。今回の雪害で倒木が多数発生し、山林が多い地元の高山エネルギーで地元を快適にしようと力を入れている物も有ります。

高山市も数年前に和式の公衆トイレを様式に切り替えてきましたが、全体的にはまだまだ和式も残っていると思われれます。おもてなしトイレと言う事で「まちなかトイレ通信」が有りましたので配布致します。6 ページには全国都道府県で快適トイレ設備が積極的に推進されている様です。海外の方が困った事なども記載してありますので興味の有る方はじっくりと読んで頂けたら良いと思えます。最後に快適性と省エネルギーは益々追求されると思えますが、経済的に合致する話に成れば普及すると思えますが、太陽光発電も万能では無く赤道直下の方が日本より 3 倍以上の効率を出せる事も有ります。

この前の倒木の停電の様な事は今後も考えられる事と思えますので、エネルギーの多様化で、熱源には電気、石油、水質燃料、地熱などいろいろ組み合わせて快適で安心できるシステムを検討して頂けたら良いと思えます。

## 「エコハウスについて&amp;まとめ」堀口 委員長

テレビ CM などよく耳にするようになった「スマートハウス」では、そのスマートハウスとは一体どんなものかご存知でしょうか？

「スマートハウス」直訳すると

「賢い家」だそう

ですが、何が

賢いのでしょうか、

一昔前までは、

省エネと言

えば、夏場のク

ーラーを我慢し

たり、冬場は服

を重ね着するな

どして暖房を節約

することが省エネ

でした。しかし最近

では電気やガスを使

っても省エネになる

ようにと考えださ

れたのが、スマート

ハウスなのです。

スマートハウスの基

本的な考え方は、

使用する電気機器・

ガス機器も効率の

良い省エネ型機器

を採用する。電気

やガスを使っても、

昔と比べて少ない

電気やガスで過ご

せる家と言う考え



また、スマートハウスには省エネルギーだけでなく「創エネルギー」という概念も取り入れられていて、電気（エネルギー）を創る装置もスマートハウスでは必須とされています。

実は省エネにとってスマートハウスより大切な事があります。それは住宅の断熱化です。断熱・気密性の低い家に、いくら効率の良い冷暖房を行っても非効率です。

低炭素型社会＝地球温暖化の防止には、温室効果ガス、中でも温暖化への影響が最も大きいとされる二酸化炭素の大気中の濃度を増加させないことが重要です。地球上の二酸化炭素循環の中では、森林が吸収源として大きな役割を果たしています。

本日の例会テーマは本年 2 月 13 日発行の高山市民時報のコラムを読んだことから始まりました。

内容は、「ロータリーの友 2 月号」に記載された秋田県立大学木材高度加工研究所所長兼教授である林知行氏の卓話の内容でした。

「木の年輪幅は南側が広い」年輪の広さと方角は無関係  
「校倉造（あぜくらづくり）の壁の通風説について」事実として、校倉の壁は開閉などしていません。

大昔の建物ですから、もともと気密性は高くなくて、壁が開閉しなくても他のところから空気は出入りしています。では、宝物がなぜ長持ちしたかという、校倉の壁があったからではなくて、木材で囲まれた状態に宝物が置かれていたからです。

よく知られているように、木材には温度調節機能というすばらしい特性があります。さらに宝物がスギのからびつの中に入っていたので、二重の湿度調整機能が働いて、湿度の変動が非常に少なかったわけです。

このように、樹と木に関する間違っ知識が世の中に氾濫していますが、今まで述べたようなものは、大した間違いではありません。われわれが見過ごせない最大のガセネタが「木を伐って使うことは環境破壊だ」ということです。木材が木材である限り、二酸化炭素は炭素として固定されたままです。

と林氏は語っておられます。

本日は、環境委員会メンバー自らが講師となって環境に配慮した低炭素型社会実現に向けて自身の職業を通じて提案発表を行いました。



#### <ニコニコBOX>

選挙も終わり静かな日々が戻って来ました。桜も散り目にも鮮やかな新緑の季節となり、あの大雪は何だったのでしょうか。皆様、体調管理に留意され仕事にロータリー活動にご活躍ください。  
**理事役員一同**

4/25 植木さんのシングル認定記念コンペで、超大叩きして落胆しておりましたら、何とビックリ！！優勝してしまいました。誠に申し訳ありません。植木さんおめでとうございます。感謝を込めてニコニコへ。  
**高木 純**

先日のシングル認定コンペ、同じ組の方々にご迷惑をお掛けしてしまいました。しかもBB賞頂きすいません。  
**永田 富次**

先日の植木さんシングル記念コンペでホタル賞を頂きました。昨日のJCOB会コンペでもホタル賞を頂きました。2連覇の後は2連敗、前回のニコニコ額が少なかったと反省してニコニコへ。  
**下田 徳彦**

とうとうゴルフでロータリーデビューしてしまいました。迷惑を掛けますが今後ともよろしくお願いします。

**都竹 太志**

4/25～4/26 と玄興寺の本堂修繕落度法要が無事終了しました。本願寺のお坊さんの人数が沢山でお布施の額を聞いても大変な行事だと感じました。また、植木さんのシングルコンペに出席できなくてすいませんでした。ベスグロ！さすがです。おめでとうございます。  
**松之木映一**

玄興寺の法要で会計として手伝わせて頂きました。土日は目を休める日なのですが、事務所の仕事より目を使いました。沢山の現金を見たので頭がボーとなっています。で、今日はその気持ちをニコニコへ。  
**前越 路子**

本日、早退します。

**西倉 良介**